

## 海外事務所 主な活動報告（令和6年3月）

## 《ワシントン州事務所》

日本アニメ・マンガをテーマとした北西アメリカ最大のコンベンション「サクラコン (Sakura-Con)」が開催された。例年、約2万5千人以上が来場する大規模イベントであり、開催期間中は、会場内外で、鬼滅の刃、ドラゴンボール、葬送のフリーレンといった日本アニメ・マンガ等のコスプレをした大勢の若者で賑わいを見せた。

当事務所は観光PRブースを出展し、アメリカで人気の高いNARUTOやゴジラのアトラクションを有するニジゲンノモリ等のアニメコンテンツを中心にPRしたほか、ユニバーサルスタジオジャパンや京都国際マンガミュージアム等、関西圏のアニメ関連施設を観光ルートと併せて紹介した。

アメリカにおいても、日本アニメ・マンガの愛好家は一定数存在し、日本に対する関心が高いことから、このような層に継続して本県のアニメツーリズムをPRすることで、本県への誘客を促進したい。

<サクラコンでのアニメツーリズム PR>

- 日 程 2024 (R6) 年3月29日 (金) ~ 3月31日 (日)
- 場 所 シアトル・コンベンションセンター
- 来場者数 約25,000人、ブース約500



当事務所ブース

## 《パリ事務所》

マルセイユ市で日本進出に関心がある地元企業を対象とした「兵庫・神戸経済セミナー」を開催し、兵庫・神戸の産業集積の状況やビジネス環境の優位性について PR を行うとともに、本県への将来的な一次進出につなげるため、参加した企業や経済関係者とのネットワーキングを行った。

2023年5月に当事務所内に神戸市が事務所を開設して以降、特に経済分野で連携して活動を行ってきた。これを機に、フランス第2の人口を誇り神戸市の姉妹都市であるマルセイユ市を中心とする広域圏との経済交流の強化を図るべく、当事務所が企画・開催した。

参加企業からは日本でのビジネス展開での留意点等について質問があり、熱心な質疑が交わされた。

<マルセイユでの「兵庫・神戸経済セミナー」の開催>

- 日 程 2024 (R6) 年3月12日 (火)
- 場 所 エクス・マルセイユ・プロヴァンス商工会議所本館  
(南仏・マルセイユ市内)
- 来場者数 約50名



セミナーの様子

## 《香港経済交流事務所》

丹波県民局では、2025年に開催される「大阪・関西万博2025」に向けて、関係者で課題や情報を共有し、丹波地域におけるフィールドパビリオン資源を国内外に効果的に発信するとともに、資源を活かした取組を持続的なものにしていくため「グローバル丹波2025推進事業」を進めている。その中で、フィールドパビリオンコンテンツ提供者や行政関係者、観光事業者等を対象に、今後のインバウンド対応の参考となるセミナーを開催することとなり、その講師を当事務所へ依頼されたことから準備を進め、登壇した。

当日は、まず当事務所の活動概要をご紹介した後、①なぜインバウンドに取り組むのか、②香港における訪日旅行者の現状について、直近の統計数値に基づき定量的かつ相対的に捉え得る市場の姿を写真も多用してお伝えした。続いて、③香港における訪日旅行者のニーズ～現地旅行会社の志向～と題し、香港人である当事務所のスタッフから、香港の旅行会社訪問時に伺った内容等を整理し定性面を中心に紹介した。

実施後は、「香港から見ると日本は大変身近な存在であることがセミナーを通じてよく分かった」、「現地のニーズ等の生の声は、インバウンドに取り組む大きなヒントになった」、「現地の肌感覚の話と、データの話がありとてもよかった」といった反応をいただいた。

### ＜グローバル丹波推進会議 第3回セミナー＞

- 日 程 2024（R6）年3月5日（火）
- 場 所 丹波県民局とオンラインのハイブリッド形式（登壇はオンライン）
- 出席数 丹波地域におけるフィールドパビリオンコンテンツ提供者、行政関係者、観光事業者等 34名

#### 今回お伝えしたいこと

- I なぜインバウンドに取り組むのか
- II 香港における訪日旅行者の現状
- III 香港における訪日旅行者のニーズ～現地旅行会社の志向～



香港人のニーズを生の声で伝えた